

# セミナー/ワークショップ/シンポジウム 概要

2010年2月20日(土) 9:00~17:00

会場:浦和大学短期大学部 (JR武蔵野線 東川口駅よりスクールバス送迎)

| 時間・項目          | 内容   |
|----------------|--|
| 9:00 受付        |  |
| 9:30 ガイダンス     | 司会:北村 真理子                                  |
| 9:40 プレセミナー    | 「ハイデルベルグ大学講座VTRより」 師井 和子                   |
| 10:00 セミナー     | 「ドイツの音楽療法について」<br>講師:Dr. Markus Risch      |
| 11:30 交流コンサート  | 「日本の伝統楽器による演奏」 琴演奏:新田 久子                   |
| 12:00 昼食・休憩    | 山本 節子                                      |
| 13:00 ワークショップ  | 「ドイツの音楽療法事例～個人・集団」:<br>講師:Dr. Markus Risch |
| 16:00 まとめ・レポート |  |

2010年2月21日(日) 9:00~17:00

会場:国立オリンピック記念青少年総合センター (小田急線 参宮橋駅 徒歩7分)

| 時間・項目          | 内容  |
|----------------|---|
| 9:00 受付        |   |
| 9:30 ガイダンス     | 司会:山口 知代  |
| 9:40 プレセミナー    | 「イメージと音楽療法」 講師:師井 和子  |
| 10:00 ワークショップ  | 「受容的音楽療法体験」 講師: Dr. Markus Risch                                    |
| 11:30 交流コンサート  | 「ドイツの歌・日本の歌」独唱:小林 恵子・酒井 ゆき  |
| 12:00 昼食・休憩    | 合唱:さゆり会 土井信子  |
| 13:00 シンポジウム   | 「ドイツ-日本 音楽療法の現状と可能性」<br>講師:Dr. M. Risch・貫 行子・青 拓美・持田 京子<br>司会:師井 和子 |
| 16:00 まとめ・レポート |   |

# ドイツー日本 音楽療法を考える

## —音楽療法の現状と可能性—

ものごとは、外から見ることではっきりすることがあります。  
今、私たちが携わっている音楽療法はどのようなものなのか？そして今後どの方向に進むことができるのか？

このたび、ドイツの心理療法士・音楽療法士である Dr. Markus Risch 先生をお迎えして、ドイツの音楽療法のさまざまなことについて詳しくお話しを伺うとともにワークショップのなかで実際にドイツの音楽療法を体験してみます。

また 2 日目には日本の音楽療法を实践されている先生方とのシンポジウムを開催いたします。ドイツと日本の音楽療法をこども・成人・高齢者とそれぞれ対比することで両国の現状、そして今後の可能性がより明らかになることでしょう。

みなさまのご参加をお待ちしております。

2010年2月20日(土)・21日(日)

いずれも 9:30~17:00

於：浦和大学短期大学部  
国立青少年オリンピックセンター

- 講師： マルクス・リッシュ氏  
(心理療法士・音楽療法士・元ハイデルベルク大学医学部講師)
- 貫 行子氏  
(日本音楽心理学音楽療法懇話会会長・仁愛女子短期大学客員教授)
- 青 拓美氏  
(日本臨床音楽研究会会長・洗足学園音楽大学講師)
- 持田 京子氏  
(東京福祉大学・千葉敬愛短期大学講師)
- 総合司会： 師井 和子氏  
(NPO 法人愛音代表・音楽療法士・臨床心理士・浦和大学短期大学部講師)



参加費： 2日間 一般 ¥18,000 愛音会員 ¥16,000 早期割引あり  
お申し込み・お問い合わせは NPO 法人埼玉音楽療法研究会 愛音まで  
TEL: 048-481-0770 | E-Mail: aine0406@tbn.t-com.ne.jp